

が息せき切つて報告した。「このお湯だけで、重油が落ちるんですよ！」その政治家の返事は、「あ、そこ」の一言。何ともトホホな話だ。(「フードリンク」一九九九年八月号より)

世界初！ 洗剤を使わないクリーニング店の開店

私はこの創生水を開発するずっと前から、洗剤そのものに疑問を抱いていました。

かつてシャンプーを二〇〇倍、三〇〇倍に薄めて使うことができる機械を開発して、ある大学の先生に報告にいったところ、「深井さん、どんなに薄めても毒は毒だよ」といわれて、まさに頭のなかは真っ白になりました。億単位のお金をかけて開発した機械が一瞬のうちにゼロになりました。そのときです。私は洗剤を使わない洗淨力のある水を開発して、洗剤を一切使わない生活を実現するぞ、日本から世界から洗剤を一掃するぞ、という強い気持ちが生まれたのです。

私はこの創生水を多くの方に理解していただくために、全国津々浦々で話をさせていただいております。私はこの創生水の装置を皆さんに買っていただきたい、とこれまで一度も言ったことはありません。そしてこの水をつくる私の会社に営業マンは一名も置いてお

りません。『営業は絶対にしてはならない』というのが私の方針です。

創生水生成装置は、私の考え方に共鳴してくださり、なおかつ洗剤の使用を一切やめていただける方だけに提供させていただいています。詳細は後述しますが、創生水生成装置の導入に当たっては洗剤を一切使わない、という契約書を取り交わすことになっています。そのお約束をしていただけない方には設置をお断りしています。大変生意気で身勝手な言い分と受け止められる方もいらっしゃると思いますが、私の基本的な考え方をなんとしても理解していただきたいのです。

一人ひとりが洗剤を使うことをやめなければ、いつになっても環境は良化しません。河川はきれいになりません。川が汚いということは水道の水も汚染度が高くなるということです。そして消毒のために塩素を大量に入れる水になって、私たちの身体をむしばんでいきます。ですから、私は諸悪の根源である洗剤を地球上からなくしたいのです。

そのためには、何より一人ひとりのエゴを抑えることが必要です。自分ひとりくらいなら洗剤を使っても環境に及ぼす影響は微々たるものだ、と想っていたのでは環境はいつまでたってもよくなりません。自分のエゴを抑えることが実は自分自身の、日本中の、そして世界中の人たちの生活環境を守ることにつながるのです。

そういう私の考え方に共鳴してくれた人のなかに、クリーニング店を経営する方がいたのです。高見明美さんという方で、お父さんの時代から兵庫県でクリーニング店を営まれ

ていました。その高見さんが私の講演会を聞いて、「洗剤を使わないで、創生水だけのクリーニングをしたい。ぜひ機械を設置してほしい」と頼みに来られたのです。

その当時、まだ日本では洗剤を使わないクリーニング店などどこを見ても一軒もありませんでした。私自身、創生水の洗浄力には絶対の自信がありました。これを商業ベースで採算の合うクリーニングシステムとしてつくり上げていく自信は正直なところありませんでした。

しかし、高見さんの熱意は相当なものでした。

「身体に悪い、環境に負荷をかけるドライクリーニングを一刻も早くやめたい。汚れ落ちのよくない、しかも身体に悪影響を及ぼすドライクリーニングでお金をもらうなんて詐欺みたいなものです。多少手間がかかっても水洗いをしたい、それも洗剤を一切使用しないクリーニングをどうしても開発したい。」

それは私ひとりの問題ではないんです。他のクリーニング店の人たちは、何も知らずに環境に負担をかけて、さらに自分たちの身体、つまり命にも負担をかけてやっています。この創生水を使ったクリーニングはすぐには業界に認められないでしょうが、このままだと、私たちの業界は環境に常に負担をかける業種のままに終わってしまいます」

この言葉は私の命に突き刺さるほど重くずっしりとのしかかりました。価値のある一言でした。つまり、視点を変えれば、環境に負担をかける一番の業種が、ドライクリーニング

グをやめれば、逆に環境を保全する業種に変わり得るのではないかと考え始めたのです。この一言で私は新しいクリーニングシステムを開発しようと決意したのです。

クリーニング業界にとってドライクリーニングは商売の生命線であるかもしれませぬ。しかし、ドライクリーニングによって河川が汚れ、環境を悪化させ、衣類を汚染させ、人体に悪影響を与えている事実を見逃すことはできません。早速私はクリーニングのための装置やシステムの開発に取りかかりました。

もちろん、私はクリーニングのプロではありません。つき当たる壁もたくさんありました。そのたびに高見さんやスタッフの人たちと一生懸命になって一つずつ解決していきました。ドライクリーニングならだいたひ夕方四時、五時で仕事は終わりますが、生産性の低い水洗いではどうしても手間がかかるのです。夜の一二時、深夜の一時まで作業をしたときもありました。染み抜き、タックつけ、アイロン掛けなど私自身で試してみましたが、洗剤を一切使わない水洗いクリーニングの効率は、ドライに比べるとはるかに低くなるのです。そのあたりの詳しい事情は、高見さん自身の言葉で語ってもらうことにして、具体的にドライをやめて創生水だけを使ったクリーニングをするとどのような変化があるのか、あるいはどんな効果があるのかを説明しましょう。

創生水クリーニングでダイオキシシンが減少する

まず何と言っても創生水を使ったクリーニングをすると、衣類などに付着したダイオキシシンが減少するという事実注目してください。

私たちはムートンを使って、ダイオキシシン残留濃度を専門の分析機関に調べてもらいました。石油系の溶剤による洗濯では三・四ピコグラム・TEQ/グラムでしたが、創生水だけで洗濯した場合には、何とダイオキシシンの残留が〇・〇〇八五ピコグラム・TEQ/グラムに減っていたのです（二六五ページ表参照）。つまり、創生水にはダイオキシシンを分解する能力があった、ということが証明されたのです。

創生水によるクリーニングには多くの特徴があります。細部は別表を参照していただきたいのですが、何より大きなポイントは、仕上がり時の肌ざわりのよさ、水溶性の汚れの完全除去、縮みの解消です。

高見さんが心配していた、クリーニングに携わる人たちの健康を守ることも、水だけを使うクリーニングによって可能になったのです。

では生産性、効率はどうかという問題です。これはクリーニング店を現在経営している方へのメッセージになると思うのですが、さまざまな研究の結果、創生水を使ったクリーニングの効率は決して従来方式に劣るものではないことが証明されています。

従来の洗濯・クリーニングとウエットビュアの健康および環境負荷比較

	ドライ クリーニング	ウエット クリーニング	創生水	創生水H1 水洗い1号機	ウエットビュア
洗浄方法	ドライ洗浄機 石油系溶剤 パークロロエチ レン 合成洗剤、 各種助剤	従来のウエット 洗浄機 合成洗剤 石鹼洗剤 各種助剤	従来のウエット 洗浄機 創生水H1だけの 水洗い	創生水専用遠心 力洗浄機 創生水H1と エア-	ウエットビュア 専用遠心力洗浄 機「あこがれ」 創生水H1とマイ ナスイオンを大 量に含むエア-
ダイオキシシン	発生・再付着	発生・再付着	減少	除去	分解・除去
ノニルフェノール	発生・再付着	発生・再付着	減少(多少)	除去	強力除去
マイナスイオン 処理	(+) イオン	(+) イオン	(-) イオン 千単位	(-) イオン 万単位	(-) イオン 十万単位

創生クリーニング総合研究所調べ

たとえば、従来のランドリーと比較してみると、さすががいらないので一回当たりの所要時間は半分以下になり、使用水量も三分の一と、大変少なくてすみます。また、背広やコートなども一回で二〇着から三〇着は洗え、時間も洗いから脱水まで一五分から二〇分。乾燥は八〇点入る乾燥室で二〇分前後に短縮され、従来のウエットクリーニングと比べて何十倍も生産性がよくなくなりました。それに、乾燥後の衣類にシワや縮みがなく、ズボンの脇の縫い目も立たなくなつたので、仕上げの手間はドライクリーニングと変わらないようになりました。私が危惧していたクリーニングの効率もさほど心配することはなさそうです。あとは、この洗剤を使わないクリーニングシステムを多くのクリーニング店に採用してい

ウエットビューアと既製クリーニングとの比較

	ウエットビューア 創生水洗い	ウエットクリーニング 洗剤洗い	ドライクリーニング 溶剤洗い
縮み	ほとんどなし。ウールのスーツでもカシミアのセーターでも大丈夫	ある。縮んでかたくなる	ほとんどなし
シワ	ほとんどなし	シワが多い。仕上げに大変時間がかかる	ほとんどなし
型くずれ	ほとんどなし	ある（揉んだり叩いたりして洗い、脱水するため）	ほとんどなし
カシミア アンゴラ等	仕上がりがとてもよい。ふっくら、ふわふわになる。風合いよく仕上がる	あまりよくない。毛がねてしまう	ギシギシした感じ。色がくすんだ感じ
匂い	自然な香り	洗剤の匂い	ドライ溶剤洗剤の匂い
風合い	軟らかく、腰がある	ガサツキがある	ギシギシした感じ
色	鮮やか	くすんだ感じ	くすんだ感じ
着心地	肌ざわりがよく、軽い	肌を刺激し、重い	肌を刺激し、重い
水溶性の汚れ	よく落ちる	落ちる	ほとんど落ちない
環境に対して	とてもよい。環境をきれいにする	悪い。水質汚染	悪い。土壌汚染
人体に対して	よい	残留洗剤があり悪い。アトピー、皮膚炎	残留洗剤、ドライ溶剤による悪影響がある。ヤケド
手間	従来のウエットより簡単	非常にかかる	簡単
ドライ溶剤	まったくいらない	不必要	必要
洗剤	まったくいらない	当然必要	必要
柔軟剤	まったくいらない	必要	必要
縮み・シワ・ 型くずれ防止剤	まったくいらない	必要	不要

創生クリーニング総合研究所調べ